

コロナ禍における 結核診療のポイント

～低まん延国となった今、結核を見逃さない！～

2021年の結核罹患率（人口10万対）は9.2と、わが国は結核低まん延国となりましたが、いまだ国内で1日に約32人の新規患者が発生する感染症です。当市では、「20～40歳代の働き盛りの患者が多い」ことが特徴としてあげられ、小児を含む家族や周囲の感染や発病が重要な問題となっています。また、コロナ禍での受診控えなどにより、診断されたときにはすでに重症化している患者もみられています。

講師



公益財団法人 結核予防会 結核研究所

対策支援部
企画・医学科長

平尾 晋 先生

日時

令和5年

1月18日(水) 19時30分
～21時

実施方法 集合研修／ZOOMによるオンライン配信 併用

定員

集合：定員20名 ZOOM：200名

申し込み

◎集合開催・ZOOM開催 いずれも事前予約が必要です
【申し込み期限：令和5年1月16日(月)正午まで】
◎申し込みURL 右記2次元バーコードから



会場

相模原市医師会会議室（ウエルネスさがみはら 5F）

日医生涯学習教育制度

1単位

カリキュラムコード：8, 12

<問い合わせ先>

相模原市保健所 感染症対策課 鈴木

電話：042-769-7201

E-mail：kansen@city.sagamihara.kanagawa.jp